

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年												2025年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~2日	2月 ~9日	2月 ~16日	2月 ~23日	3月 ~2日	3月 ~9日
カンピロバクター	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	18	1	4	3	6	9 (10)	9
病原性大腸菌	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	23	28	25	27	27	21	22
腸管出血性大腸菌	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	1	2	1	0	0	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	14	4	5	2	4	2	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	9	2	2	2	3	3	3
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	1	0	1	1	1	0
ロタウイルス	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	4	2	1	0	2
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	1	2	0
ノロウイルス	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	1	2	3	5	10	13

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和7年第10週(3月3日~3月9日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10	1	1	1		6		1
三類	2	細菌性赤痢	1					1		
		腸管出血性大腸菌感染症	1						1	
四類	1	E型肝炎	1					1		
		デング熱	1					1		
		レジオネラ症	1					1		
五類	16	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2					2		
		侵袭性肺炎球菌感染症	2					1		1
		梅毒	3					2		1
		百日咳	9	1			1	7		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 感染性胃腸炎

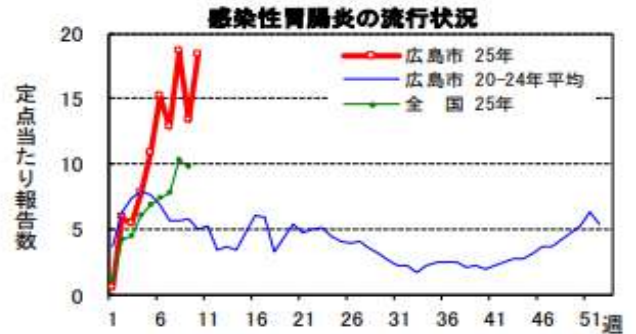
定点当たり18.43人の報告があり、多い状況が続いています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

2 RSウイルス感染症

定点当たり1.26人の報告があり、増加傾向です。また、例年同時期より多い状況が続いており、注意が必要です。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.94人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策を徹底しましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
インフル	インフルエンザ	36	1.00	6.93	→	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.03		→	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	70	1.94		↔		流行性耳下腺炎	-	-	0.03		→	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
小児科	RSウイルス感染症	29	1.26	0.24	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		→	ほとんど増減なし	
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.42			流行性角結膜炎	12	1.50	0.35		→	ほとんど増減なし	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.91	1.47	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		→	ほとんど増減なし	
	感染性胃腸炎	424	18.43	5.06	↔		無菌性髄膜炎	-	-	-		→	ほとんど増減なし	
	水痘	-	-	0.18			マイコプラズマ肺炎	4	0.67	0.03		→	ほとんど増減なし	
	手足口病	-	-	0.19			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		→	ほとんど増減なし	
	伝染性紅斑	6	0.26	0.10			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	0.83	0.03		→	ほとんど増減なし	
	突発性発しん	6	0.26	0.22										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	23	20歳代・推定感染地域: 国外・1人、60歳代・1人、70歳代・2人、80歳代・1人、90歳代・1人
3	細菌性赤痢	1	1	20歳代・推定感染地域: 国外
4	E型肝炎	1	1	40歳代
4	デング熱	1	3	30歳代・推定感染地域: 国外
4	レジオネラ症	1	2	90歳代・市外
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	8	70歳代、90歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	9	70歳代
5	梅毒	2	26	20歳代、40歳代
5	百日咳	7	28	10歳代・4人、40歳代・2人、50歳代・1人